

東海大学高輪キャンパスの有効的活用方法の一提案

北濱 幹士*¹

Proposal for Effective Utilization of University Facilities at Tokai University Takanawa Campus

by

Kanji KITAHAMA*¹

(received on Sep.19, 2018 & accepted on Nov.15, 2018)

あらまし

昨今、進学・就職時に東京圏へと上京してくる若者は非常に多く、今後も超過転入の改善は難しいとも示唆されている。2020年には東京圏内でメガ・スポーツイベントが開催されるなど、今後も東京圏を中心とした事柄は増えていくと考えられる。本稿の目的は、東海大学の施設有効活用方法の提案であり、特に東京圏の中央に位置するキャンパス（高輪）に限定する。地方キャンパスの学生だけではなく、東海大学全学生における学生生活・諸活動をサポートする環境充実の一環として、都市部キャンパスの効果的な活用方法の提案を行う。

Abstract

This report shows a proposal for a method of effective utilization of university facilities unique to Tokai University's Takanawa Campus, in support of students' activities, such as volunteerism, job fairs, job hunting and so on. Although Tokai University has several campuses and educational facilities in Japan, and other countries, it is difficult to use these facilities freely. The purpose of this study is to review and make wise and efficient use of Takanawa's urban campus for benefit of students of Tokai University.

キーワード: 大学施設, 高輪キャンパス, 学生生活・諸活動の支援

Keywords: University Facility, Takanawa Campus, Support of Students' activity

1. はじめに

地方創生の取り組みの一つとして東京一極集中の是正が求められている。しかし、即座に解決可能な問題より継続的に助長していかなければならない課題が多く存在している。2017年12月、地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議にてこれらの問題、方向性、そして今後の取組についての報告がされた。国内のヒト・モノ・カネは東京に集中していると同様に、若者も進学時、そして就職時に東京圏への進学・進出が顕著であると報告されている。また、今後の具体的な地方創生の取組として、国内留学や単位互換、そしてサテライトキャンパスの設置等が挙げられている¹⁾。東京圏の大学に進学せず、地方大学に在籍しながらでも東京圏の大学と同様のメリットを享受できる取組に期待が集まっている。この様に、多くの大学にて学生の対流・交流の効果を高める国内留学や単位互換の導入の必要性は示唆されている。しかし、サテライトキャンパスの導入については、既存の地方大学への影響も踏まえ容易には進まないとも考えられる。

本稿では、全国各地にキャンパスを有する東海大

学のメリットを活かした東海大学の QOL 向上の一端として位置づけ、学生生活・諸活動をサポートする環境づくりを考える。その中で、戦略的なキャンパスの有効活用方法として、東海大学高輪キャンパス 3 号館のラウンジ化を提案する。

2. 東海大学のキャンパス

東海大学の本部所在地は東京都渋谷区であるが、その他、全国 7 カ所にキャンパス⁺¹、2 つの短期大学⁺²、そして多数の研究所・センター、教育支援・施設を有している。日本国外には、デンマーク・コペンハーゲンにヨーロッパ学術センター、アメリカ・ハワイにはハワイ東海インターナショナルカレッジとパシフィックセンターがある。これら国内外の各施設は、大学・短期大学における短期・中期・長期の留学の他、付属高等学校や中等部、そして連携校が語学研修や修学旅行等、グローバルな人材育成の場としても共有・活用されている。

2018 年度 5 月現在、一番多くの学部があり 18,940 人の学生が在籍しているのが湘南キャンパスである。続いて、清水キャンパスの 2,170 人、熊本キャンパスの 2,106 人、札幌キャンパスの 1,489 人、伊勢原キャン

*1 高輪教養教育センター 准教授
School of Information and Telecommunication
Engineering, Liberal Arts Education Center,
Takanawa Campus, Associate Professor

+1 東海大学のキャンパス: 札幌, 代々木, 高輪, 伊勢原, 湘南, 清水, 熊本

+2 東海大学の短期大学: 短期大学部, 医療技術短期大学

ンパスの1,446人、高輪キャンパスの1,385人、そして代々木キャンパスの673人⁺³である。東海大学の総学生数は28,209人であり（大学院生957名は除く）、その約2割の学生が東京圏外（地方キャンパス）にて学んでいる²⁾。

各キャンパスや教育研修施設を活かした多種多様なプログラムは全学生を対象に実施されている。例えば、キャンパス間留学制度⁺⁴、夏季・冬季のセッション中に開講される集中体育科目は、国内だけに留まらず海外マリンスポーツのプログラムもある。また、海外研修航海など、海外派遣留学プログラムは20か国59コースにも上る。

2.1 高輪キャンパスの所在地

高輪キャンパスの所在地は、東京都港区高輪2-3-23である。品川駅（JR・京浜急行）からは徒歩18分、白金高輪駅（東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線）は8分、泉岳寺駅（都営地下鉄・京浜急行）は10分と公共交通機関へのアクセスが良い立地にある。また、アクセスが良いのは電車だけでなく、品川駅からは東海道新幹線へ乗車可能、泉岳寺からは京浜急行で東京国際空港（羽田）まで降車不要で26分と交通機関へのアクセスが抜群の立地である。

2.2 高輪キャンパスの施設

高輪キャンパスには、1号館、2号館、3号館、4号館があり、東海大学附属高輪台高等学校・中等部が隣接している。高輪キャンパスの食堂は（コメドール）、約280の席の他、売店や屋外ラウンジが用意されている。高輪キャンパスの立地上、グラウンドは設置されていないが、1号館前、2号館前、4号館周辺と30~40台の車両の駐車は可能である。また、隣接の附属高校入口には数台の大型バスが入構、駐車可能なスペースがある。

3. 都市部施設の必要性

東京圏への若者の超過転入が大きな問題となり、地方大学に在籍しながらも東京圏と同様のメリットを享受できる取組が推進されている。しかし、この考え方は東京圏在住の人間が考える事だと思われる。これほどまでに多くの企業や高等教育機関が東京圏に集中するのは、東京が世界都市として経済的、政治的、文化的な中枢機能が集積しているからである。東京圏の大学・学部新增設の抑制をしたところで、現時点での学生収容人数が大幅に変化する訳ではない。つまり、東京圏への超過転入の改善は容易ではないのである。

地方に拠点を持つ一般企業や行政機関が、地方中核都市圏等に出先機関（事務所やアンテナショップ）

を設置している事例が多く見受けられる。例えば、東京都庁第一本庁舎内に設けられている「全国観光PRコーナー」³⁾や、新宿駅南口の「新宿みやざき館 KONNE」⁴⁾は有名なアンテナショップではないだろうか。この様に、中核都市圏等に事務所やアンテナショップ等の出先機関を持つことによって、事業者や行政が広告宣伝、或いは知名度向上に努めることは当然の事として実施されている。また、地方から出先機関へと出向する事で、人事交流は勿論の事、出向先での諸種の間人関係を含んだ繋がりを地域・地方での新たな連携として活かす事ができる。

下記では、大学生に直接関係してくる事柄として東京圏での就職活動と各種ボランティア活動を取り上げ、大学生における都市部施設の必要性を考える。

3.1 就職活動

Iターン、Uターン、Jターンなどの人口還流現象が就職活動のフレーズとして使われているが、依然として都市部での就職希望学生は多い。都市部（東京、埼玉、千葉、神奈川）には、全国の大学の約3割にあたる225の大学があり、約120万人と全国の大学生の約4割が勉学に励んでいる（Table 1参照）。従って、学生が集まりやすいという点からも、都市部にて就職説明会が多く開催されている。優秀な学生を獲得する為、地方での説明会も多く開催されている事もあるが、本社が東京であるが故に、最終面接地に東京が指定されている事は少なくない。

地方在住の学生にとって東京圏での就職活動は、移動等の時間も負担となるが、それ以上に交通費や宿泊費などの費用（金銭）が大きな負担となる。就職説明会や試験のために往復するか、親戚や友人・知人を頼り宿泊するか、或いはホテル等の利用が必須となる。また、選考が一次・二次と続けば続くほど交通費や宿泊費が必要となる。会社によっては、選考にかかる費用の補助を出しているが、あくまでも補助の範疇であり、多くの就職説明会に参加し、受験するのであれば、それ相応の時間・金銭的負担を覚悟しなければならない。就職活動に必要な費用捻出の為に学業が疎かになってしまえば本末転倒である。従って、地方在住で首都圏に拠点が無い学生のためにも、無料か安価にて諸活動を支援する施設が必要である。

Table 1 Number of universities and students in metropolitan area and nationwide⁵⁾.

	学校数	学生数
東京	138	754,388
埼玉	28	118,323
千葉	27	111,885
神奈川	32	193,485
全国	780	2,890,880

3.2 各種ボランティア活動

ボランティア活動は、個人の興味関心、或いはその

+3 代々木キャンパス（観光学部）の1年次生は湘南キャンパス在籍

+4 在籍地区以外のキャンパスでの履修
https://www.u-tokai.ac.jp/campus_life/education/transfer/
 （最終閲覧日 2018年9月14日）

ニーズによって行われるものである。その種類は、自然や環境、国際交流・協力、社会福祉、健康や医療関係、街づくり、防災・被災者支援、多文化共生、文化・芸術、或いはスポーツと多種多様である。

昨今、約10,000人のボランティアが募集されたのが、ラグビーワールドカップ2019（以後、ラグビーW杯）である。ラグビーW杯は、2019年9月20日（金）に東京スタジアム（味の素スタジアム）にて開会式と開幕戦、そして11月2日（土）に横浜国際総合競技場（日産スタジアム）で争われる決勝戦まで都市圏会場4つを含み、全国12の会場で行われる。ボランティアプログラムの名称を「NO-SIDE」として、2018年7月18日まで募集が行われた。ラグビーW杯は、12都市で行われる為、1都市の募集人数が約400人～3000人、また最低活動日数も2日間～5日間と試合日数に応じた募集がされている⁹⁾。

その翌年に行われるのが東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以後、東京2020大会）である。東京2020大会は、オリンピック競技大会が2020年7月24日（金）～8月9日（日）、そしてパラリンピック競技大会を同年8月25日（火）～9月6日（日）首都圏会場を中心に、北海道、宮城、福島、静岡にて競技が行われる。同大会では、ラグビーW杯のボランティアを含み、9万人以上のボランティアを募集している。既に一般公募されている東京2020大会のボランティア応募条件を下記にて確認する。

東京2020大会では、「大会ボランティア（組織委員会担当）⁷⁾」と「都市ボランティア（東京都担当）⁸⁾」と2つの異なったボランティアを募集している。大会運営に直接関わるのが大会ボランティアであり、その活動は案内、競技、移動サポート（運転等）、アテンド、運営サポート、ヘルスケア、テクノロジー、メディア、式典と多岐に渡っている。逆に都市ボランティアは、開催都市のおもてなしが活動の役割であり、大会の花を添え、盛り上がりの一翼が期待されている。空港・主要部鉄道駅・観光地・競技会場最寄り駅その動線・都内ライブサイトでの観光案内、交通案内、大会インフォメーション、東京都のPR等がその活動内容である。

東京2020大会のボランティアで一番期待をされている年代が学生である。大会開催時期的にも日数的にもボランティア内容にも学生を必要としているのは否めないだろう。ボランティア戦略の中にも、大学生の試験日程の配慮の働きかけ等、大学生がボランティア活動へ参加しやすい取組を検討と記されている⁹⁾。

- ・平成32年4月1日時点で満18歳以上の方
- ・ボランティア研修に参加可能な方
- ・日本国籍を有する方又は日本に滞在する資格を有する方（大会ボランティア）
- ・日本国籍を有する方又は日本に居住する資格を有する方（都市ボランティア）
- ・10日（大会ボランティア）/5日（都市ボランティア）以上活動できる方
- ・東京2020大会の成功に向けて、情熱を持って最後まで役割を全うできる方
- ・お互いを思いやる心を持ちチームとして活動したい方

4. 高輪キャンパス 3号館の活用方法

都市部キャンパスは、就職活動や各種ボランティア等における休憩場所として非常に高い利便性を持つ。高輪キャンパスでは、月に1度ほどのペースで学会や各種研究会等が開催されている。これは高輪キャンパスの利便性が高く、有効的に活用されている施設の証である。

高輪キャンパスの位置を東京2020大会の主な会場図の中に加筆すると、多くの会場が近隣であることがわかる（Fig.1）。例えば、開・閉会式が行われる新国立競技場までは約5.5キロであり、自転車で約20～30分程度である。半径約5.5の円の中には13の会場があり、報道・放送センターが置かれる東京ビッグサイトへも容易に行くことが可能である。つまり、東京2020大会は高輪キャンパスを中心としたエリアで開催されると言っても過言ではない。



Fig.1 Main venue of Games of the XXXII Olympiad and Takanawa Campus¹⁰⁾.

そこで提案するのが、「高輪キャンパス 3号館のラウンジ」構想である。どの大学でもキャンパスでも学生ラウンジが整備されているが、ここでイメージしたいのは、各空港に設置されている「ラウンジ」である。空港利用者には待合所が用意されているが、静かで落ち着いて様々なサービスを好む利用者は多少の費用捻出が必要だとしてもラウンジを利用する。つまり、設置することで他者（他社・他大学）との差別化を図り、よい良いサービスの提供を前面に出した施設が「ラウンジ」である。

東海大学の学生証を保持している学生は、全国各地の東海大学の施設を利用することが可能である。その一例を挙げると、大学から付与されたIDとパスワードは、全国のキャンパス内に設置されたコンピュータ室から使用が可能である。個人用フォルダにアクセスし、重要な書類の再印刷や各種データファイルの加筆修正もできる。

高輪キャンパスの3号館は、地下1階、地上4階の東海大学専門職大学院組込み技術研究科の棟として2007年2月28日に竣工された¹¹⁾。現在は、学生厚生スペース、講義室、研究室、談話室、会議室として幅広く利用されている。

3号館をラウンジ化する上で合理的であると考えられたのは、次に示す3点の理由からである。3号館が完全別棟である事、次に、入館管理システムが設置されている事、そして最後に、入口正面には受付（事務室）があり入構者の確認が可能な事である。つまり、入館希望の学生は、東海大学の学生証を入館証として提示する事で、他大学の学生との差別化ができる。勿論、利用者人数制限、個別な利用制限なども学生証を使用する事で適切確実である。また、これらの条件はリスクマネジメントのからもポテンシャルが高い施設だと思われる。

次に、ラウンジ化するに辺り、3号館にはどのような整備が必要とされるのだろうか。衣食住から考えた場合、1)「衣」は洗濯機の設置（近隣のコインランドリー・クリーニング店の利用）、2)「食」は高輪キャンパスの食堂利用（近隣のコンビニエンスストアやレストランの活用）、3)最後に「住」であるが、講義室を休憩場所としてコンバージョンする必要がある。その他、スーツケース等の大きな荷物の保管ができる鍵付きロッカー、身だしなみを確認できる全身鏡が備わった更衣室やシャワールーム、パウダールーム、そして身体を休めるための休憩室等の整備・設置である。その他、無料インターネット（Wi-Fi）、各種電子機器の充電、就職活動に必要な書類等の印刷設備やFAXは必須項目として挙げられる。

また、3号館には一時避難場所（帰宅困難者対策）として、発電設備、災害備蓄用としての食品・飲料水の保管などの防災設備・機能も用意すべきである。大規模災害発生時には、多くの帰宅困難者が学生の間からも出現する事が予想される。特に、都市部キャンパスには、首都直下型地震に対する備えが急務だと考える。

5. まとめ

全国各所にキャンパスを有する東海大学ならではの、逆サテライトキャンパスとしての都市部キャンパスの有効的活用方法を提案した。今後も、若者が東京圏を進学・就職先として希望する限り東京一極集中は不変的であると考えられる。

東京圏のキャンパスに進学とせずとも、都市部キャンパスの施設が効果的に利用できる事で、学生は自身のQOLの向上に活用する事ができる。東京圏内で学んでいる学生も、その施設の利用法は未知数である。大学は、様々な用途を鑑みた施設整備をすることで、学生生活・諸活動をサポートする環境を充実させる事ができる。同じ目標を持った若者が一同に介し、悩みや夢を語り合い、個人・文化の多様性や価値観を受け入れ、共有していくことが現代の学生にとって必要な事柄の一つであり、大学が期待している事ではないだろうか。

なお、2018年度第4回情報通信学部教授会（7月11日）にて、3号館に東海大学情報技術センターが代々木キャンパスから移転予定、極東連邦大学の事務局

も設置される旨が報告されている。また、2022年度に向けた全学的な改組改変及びキャンパス再編計画が公式発表されている。これらの移転・設置、キャンパス再編と共に、高輪キャンパスの3号館が大学のQOL向上に向けた中心施設として活用される事を強く期待する。

参考文献

- 1) 地方における若者の就学・就業の促進に向けて - 地方創生に資する大学改革 - 地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議 最終報告 平成29年12月8日
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/meeting/daigaku_yuushikishakaigi/h29-12-08_daigaku_saishuuhoukoku.pdf
（最終閲覧日 2018年9月14日）
- 2) 東海大学POCKET DATA 2018年度版：大学広報部企画広報課
- 3) 全国観光PRコーナー：
https://www.gotokyo.org/jp/tourists/info/center/country_pr.html（最終閲覧日 2018年9月14日）
- 4) MIYAZAKI新宿みやざき館KONNE：<https://www.konne.jp/>
（最終閲覧日 2018年9月14日）
- 5) 学校基本調査/平成29年度高等教育機関《報告書掲載集計》学校調査 大学・大学院
https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=detail&toukei=00400001&tstat=000001011528&cycle=0&tclass1=000001110643&tclass2=000001110730&tclass3=00001110731&tclass4=000001110733&stat_infid=000031656032&second2=1（最終閲覧日 2018年9月14日）
- 6) ラグビーワールドカップ2019™日本大会公式ボランティアプログラム NO-SIDE 募集要項
https://pulse-static-files.s3.amazonaws.com/worldrugby/document/2018/04/22/e2003a50-a0b5-461f-a817-3390fe1cd2cf/RWC2019Volunteers_Application_guidelines_JP.pdf（最終閲覧日 2018年9月14日）
- 7) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 大会ボランティア募集要項
https://tokyo2020.org/jp/get-involved/volunteer/data/volunteer-guideline_JP.pdf（最終閲覧日 2018年9月14日）
- 8) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 都市ボランティア募集要項
<http://www.city-volunteer.metro.tokyo.jp/asset/img/about/tokyo2020/requirements/requirements.pdf>（最終閲覧日 2018年9月14日）
- 9) 東京2020大会に向けたボランティア戦略について
https://tokyo2020.org/jp/get-involved/volunteer/data/volunteer-all_JP.pdf（最終閲覧日 2018年9月14日）
- 10) 東京オリンピック競技会場マップ（部分拡大図）に筆者加筆 <https://tokyo2020.org/jp/games/venue/olympic/>
（最終閲覧日 2018年9月14日）
- 11) 東海大学専門職大学院組込み技術研究科：東海大学専門職大学院 組込み技術研究科の足跡、2013年